

2017年6月吉日

専門学校卒業生を対象とした、全国調査結果のご報告

8割が「専門学校に入って成長できた」 9割が「学んだことを生かせる」職場に就職

一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会（大阪市都島区／理事長 福田益和）は、株式会社応用社会心理学研究所との共同企画のもと、2017年3月の専門学校卒業生（調査時点では予定者）を対象に『全国専門学校共同卒業生調査』を実施しました。

去る2017年5月、実践的な職業教育を行う新しい高等教育機関として「専門職大学」「専門職短期大学」を創設を盛り込んだ改正学校教育法が成立しました。2019年春以降の開学に向け既存の大学・短大、専門学校からの移行が想定されるなど、さらなる専門職業教育の充実が期待されています。しかし大学・短大に比べ、専門学校は高等学校卒業生（過年度卒含む）の約2割の進学先としてその役割を担ってきたにも関わらず、その教育評価の実態については十分に明らかになっていないとは言えません。

そこで同調査は、専門学校卒業生を対象とし、全国共通指標によって専門学校の教育評価を明らかにする調査として企画されました。専門学校の“価値”にフォーカスし、学生視点での専門学校の教育評価を測定する取り組みであり、今後の専門学校教育のさらなる質の向上や、各校のより良い学校運営の実現に資するエビデンスを収集するとともに、その結果を広く社会に発信していくことを目的としています。ここに調査結果の一部をご紹介します。

<調査結果のポイント>

1) 専門学校の教育を高く評価する卒業生。

8割近くが「総合的に評価して、良い学校だった」と回答。

・卒業した専門学校に対して「総合的に評価して、良い学校だ」と回答した比率は77.4%で、専門学校卒業生の8割近くが母校に対して肯定的な評価をしている。

2) 学びを通して成長を実感する卒業生。

8割近くが「専門学校に入って成長できた」と回答。

・卒業生は専門学校での学びをどう意味づけているのか。「専門学校に入って成長できた」と回答した比率は78.7%であり、約8割が専門学校での学びによって自分が成長できたと感じられている。

3) 8割以上が「専門知識や技術」が身についたと回答。

「職業人としての姿勢や考え方」など、意識面でも7割以上が成長を実感。

・具体的にはどのようなことが身についたのか。「専門知識や技術」が身についたと回答した比率は84.2%と最も高く、次いで「職業人としての姿勢や考え方」も72.9%と高くなっている。専門の知識やスキルのみならず、社会人として活躍するうえで必要な意識面でも成長を実感している人が多い。

4) 卒業後は、就職者の9割以上が「学んだことを生かせる」就職先に決定。

・卒業後、就職者の90.9%が「学んだことを生かせる分野」に就職することができている。教育面のみならず卒業後の出口についても評価される結果となっている。

5) 「卒業校を他の人にも勧めたい」、卒業生の7割以上が肯定。

・「この分野に興味を持つ人がいれば、卒業校を勧めたい」と回答した比率は72.5%であり、卒業した学校に対するロイヤルティの高さがうかがえる。

※『全国専門学校共同卒業生調査』では108項目について詳細な調査を行っており、本資料ではその一部を紹介しています。本資料はWEBサイトでも公開しています。⇒ <http://daisenkaku.or.jp>

■■ 調査概要 ■■

- 企画名 : 専各連合会特別企画『2017年 全国専門学校共同卒業生調査』
- 企画 : 一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会／株式会社応用社会心理学研究所
- 調査期間 : 2016年12月～2017年3月
- 調査対象者 : 2017年3月の全国の専門学校卒業予定者 4,146人（うち有効回答者数 3,981人）
全国の専門学校 45校
- 調査方法 : 調査は無記名で実施し、各学校にて授業や試験時などを利用して調査票（アンケート用紙）を
その場で配布・回収
- 参画校全体データの抽出方法：
できるだけ専門学校卒業生全体の傾向を正確に把握できるように以下①～③のデータ処理を行った結果、
抽出された1,260名を分析対象としています。
①回答精度が低いなど、分析に適さないサンプルを除去
②各学校から200サンプルを上限にランダムに抽出し、規模の大きい学校の偏りを是正
③「平成28年度学校基本調査」（文部科学省）の分野別卒業生比率に合わせてサンプル割付を行ない、分野の偏りを是正
- 調査項目 : 以下108項目
- ・卒業生の属性（性別、学生時代の居住形態、所属コースなど）
 - ・学校ロイヤルティ（総合評価、理念浸透など）
 - ・充実・満足度（学生生活、教育内容、進路について）
 - ・教育内容の評価（環境、教育・教育成果、先生・職員、就職支援など）
 - ・学生生活満足について（学生生活の感想、周りの雰囲気、生活環境・過ごし方など）
 - ・身についたと思うこと（専門分野の知識や技術、マナーやルール、姿勢など）
 - ・職業意識（就労意欲、仕事に対する態度、キャリアビューなど）

◆『全国専門学校共同卒業生調査』の概要◆

本調査は、学生視点で、専門学校における「学び」「教育」の実態（成果や課題）を総合的に明らかにし、専門学校教育のさらなる質の向上に資する情報を各校や社会に発信することを目的に、2015年から一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会と株式会社応用社会心理学研究所の共同企画により全国で実施されています。専門学校の卒業予定者を対象とした全国共通指標による大規模調査としては他に例がなく、画期的な取り組みとして注目されています。

株式会社応用社会心理学研究所の20年にわたるキャリア教育研究（13歳のハローワーク「“しごと観育成”研究会」など）で明らかになった知見が盛り込まれており、専門学校教育の今後の意義や成果を社会に発信するとともに、今後の質向上にむけた施策を検討する際の数少ない貴重なエビデンスとして今後活用が期待されています。

なお、一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会と株式会社応用社会心理学研究所は、専門学校を対象とした共同調査として、2009年度より『全国専門学校共同入学者調査』も実施しています。

本件に関するお問い合わせ先

■ 企画事務局 : 一般社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会

担当：勝間
〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20 大阪府私学教育文化会館103号室
TEL：06-6352-0048 FAX：06-6352-7553
mail：info@daisenkaku.or.jp URL：http://daisenkaku.or.jp

■ 調査データについて : 株式会社 応用社会心理学研究所（アспект）

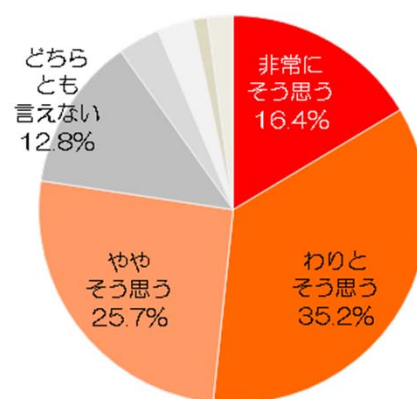
担当：古谷（ふるや）
〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-8 北浜東森田ビル5F
TEL：06-6941-2171 FAX：06-6941-2081
mail：o-senkaku@aspect-net.co.jp URL：http://www.aspect-net.co.jp

卒業生の8割近くが「総合的に評価して、良い学校だった」と回答 専門学校の教育を高く評価

- 卒業した専門学校に対して「総合的に評価して、良い学校だ」と思っている学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」「ややそう思う」という積極的な評価を合計すると、77.4%になっている。卒業生の8割近くが母校に対して肯定的な評価をしている。

■ 卒業校評価：総合的に評価して、良い学校だ [単一回答]

	人	%
非常にそう思う	207	16.4
わりとそう思う	444	35.2
ややそう思う	324	25.7
どちらとも言えない	161	12.8
ややそう思わない	44	3.5
あまりそう思わない	38	3.0
まったくそう思わない	15	1.2
不明	27	2.1
全体	1,260	100.0



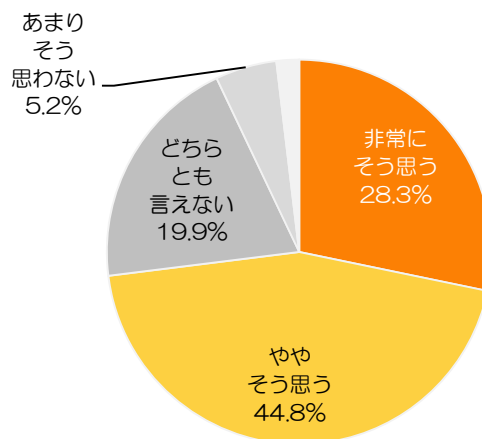
※5%未満は非表示

卒業生の7割以上が「先生は教育・指導に熱意を持っていた」と回答するなど、先生に対する評価が高い

- ・「先生は教育・指導に熱意を持っていた」という項目について、「非常にそう思う」「ややそう思う」という回答を合わせると、73.0%になる。
- ・また「先生が親しみやすかった」についても78.6%が好意的に回答し、先生の親近感、教育に対する熱意ともに高く評価している。

■本校（卒業校）の教育について：先生は教育・指導に熱意を持っていた【単一回答】

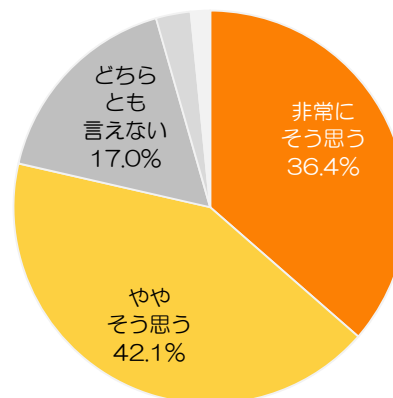
	人数	%
非常にそう思う	356	28.3
ややそう思う	564	44.8
どちらとも言えない	251	19.9
あまりそう思わない	65	5.2
まったくそう思わない	24	1.9
不明	0	0.0
全体	1,260	100.0



※5%未満は非表示

■本校（卒業校）の教育について：先生が親しみやすかった【単一回答】

	人数	%
非常にそう思う	459	36.4
ややそう思う	531	42.1
どちらとも言えない	214	17.0
あまりそう思わない	36	2.9
まったくそう思わない	20	1.6
不明	0	0.0
全体	1,260	100.0



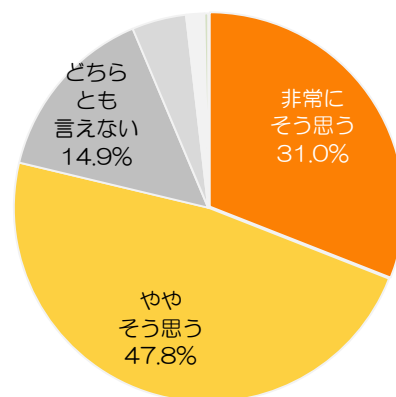
※5%未満は非表示

卒業生の8割近くが「本校（卒業校）に入って成長できた」と回答 また「学生生活が充実していた」という回答も7割を超える

- ・「本校（卒業校）に入学したことによって成長した」という項目に対して、「非常にそう思う」「ややそう思う」を合わせると78.7%になり、成長を実感する卒業生が多いことがうかがえる。
- ・同様に「本校（卒業校）での学生生活は充実していた」に対しては、71.3%が肯定的な回答をしており、専門学校で充実した学生生活を送ることができた学生が多いと考えられる。

■ 学生生活評価：本校（卒業校）に入学したことによって成長した [単一回答]

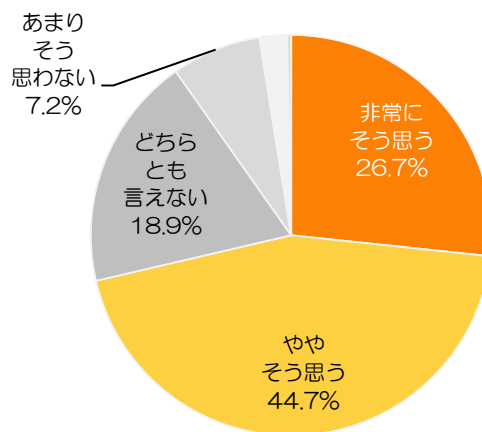
	人数	%
非常にそう思う	390	31.0
ややそう思う	602	47.8
どちらとも言えない	188	14.9
あまりそう思わない	57	4.5
まったくそう思わない	19	1.5
不明	4	0.3
全体	1,260	100.0



※5%未満は非表示

■ 学生生活評価：本校（卒業校）での学生生活は充実していた [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	336	26.7
ややそう思う	563	44.7
どちらとも言えない	238	18.9
あまりそう思わない	91	7.2
まったくそう思わない	28	2.2
不明	4	0.3
全体	1,260	100.0



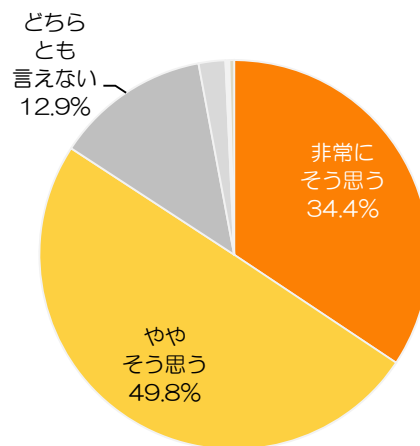
※5%未満は非表示

**卒業生の8割以上が「専門知識や技術」が身についたと回答
 「職業人としての姿勢や考え方」など意識面でも7割以上が成長を実感**

- 「本校（卒業校）に入学して身につけたこと」という設問に対して、「専門知識や技術」について「非常にそう思う」「ややそう思う」という積極的な評価を合計すると84.2%になる。
- 同様に「職業人としての姿勢や考え方」については、72.9%の人が身についたと感じており、意識面でも成長を実感している

■本校（卒業校）に入学して身についたと思うこと：専門知識や技術 [単一回答]

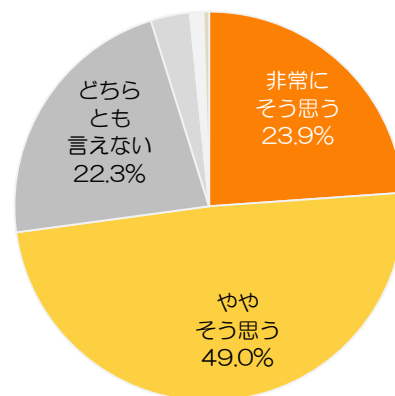
	人数	%
非常にそう思う	433	34.4
ややそう思う	628	49.8
どちらとも言えない	162	12.9
あまりそう思わない	28	2.2
まったくそう思わない	4	0.3
不明	5	0.4
全体	1,260	100.0



※5%未満は非表示

■本校（卒業校）に入学して身についたと思うこと：職業人としての姿勢や考え方 [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	301	23.9
ややそう思う	617	49.0
どちらとも言えない	281	22.3
あまりそう思わない	41	3.3
まったくそう思わない	14	1.1
不明	6	0.5
全体	1,260	100.0



※5%未満は非表示

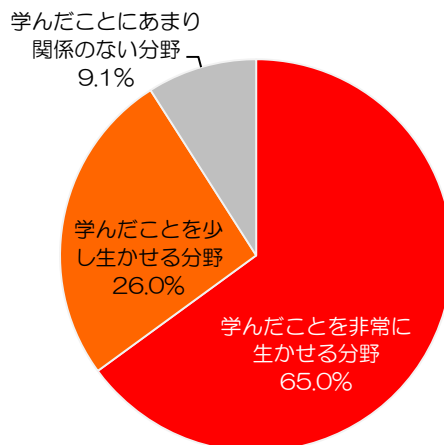
卒業後は、就職者の9割以上が「専門学校で学んだことを生かせる」就職先に決定

- 卒業後「就職する」人の就職分野の内訳をみると、「学んだことを非常に生かせる分野」と「学んだことを少し生かせる分野」を合わせると90.9%となり、ほとんどの学生が専門学校で学んだことを生かせる就職先を決定できている。
- また、卒業後「就職する」人の雇用形態は、85.8%が正社員である。

■「就職する」人の就職分野【単一回答】

	人数	%
学んだことを非常に生かせる分野	653	65.0
学んだことを少し生かせる分野	261	26.0
学んだことにあまり関係のない分野	91	9.1
全体	1,005	100.0

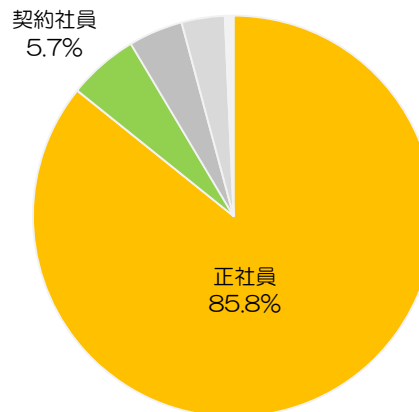
※卒業後の進路が「就職する」と回答した人限定



■「就職する」人の雇用形態【単一回答】

	人数	%
正社員	862	85.8
契約社員	57	5.7
アルバイト	44	4.4
その他	35	3.5
不明	7	0.7
全体	1,005	100.0

※卒業後の進路が「就職する」と回答した人限定



※5%未満は非表示

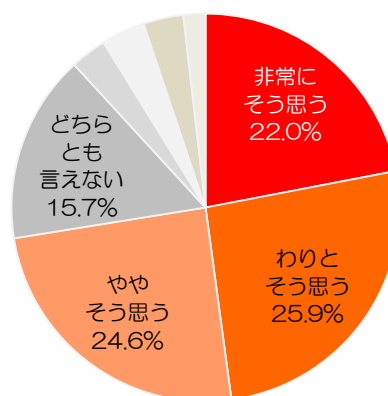
卒業校を「他の人にも勧めたい」、卒業生の7割が回答

- 「この分野に興味を持つ人がいれば、本校（卒業校）を勧めたい」と回答した学生は、「非常にそう思う」「わりとそう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答を合わせると、72.5%になる。

自分が卒業した学校に対するロイヤルティの高さがうかがえる。

■ 卒業校評価：この分野に興味を持つ人がいれば、本校（卒業校）を勧めたい [単一回答]

	人数	%
非常にそう思う	277	22.0
わりとそう思う	326	25.9
ややそう思う	310	24.6
どちらとも言えない	198	15.7
ややそう思わない	38	3.0
あまりそう思わない	46	3.7
まったくそう思わない	42	3.3
不明	23	1.8
全体	1,260	100.0



※5%未満は非表示